

# 出穂期は平年並！ 早生の穂肥は遅れずに！

- ・上根の発根を促進させるため、本格的な梅雨を前に、中干し・溝切り不十分のところはすぐに行い、登熟期間の稲体の維持につとめましょう。
- ・**ほ場ごとの生育差が大きい**ので、穂肥の施用前には必ず幼穂を確認しましょう。

## 1 生育状況 (平成 20 年 6 月 25 日現在) ～ ～

品 種	場 所	移植	草 丈(cm)			茎 数(本/m <sup>2</sup> )			葉 数(葉)			葉 色(SPAD)		
			本値	前比	指比	本値	前比	指比	本値	前差	指差	本値	前差	指差
コシヒカリ														
こしいぶき														

各米穀班にご確認ください。

(本値：本年値 前比：前年比 指比：指標値比)

## 2 幼穂形成期・出穂期の予想と穂肥施用のめやす (注：稚苗 5/6 植で予想)

- ① 幼穂形成期・出穂期予想は6月20日の生育から予想しております。今後の気象状況により変動します。今後の情報にご注意下さい。
- ② 幼穂形成期以降、前年配布しました『品質向上必勝盤』で確認しましょう
- ③ コシヒカリの幼穂形成期・出穂期予想等は次号でご確認をお願いいたします。

品 種 名	幼穂形成期	出穂期	1 回目穂肥			2 回目穂肥		
			出穂前日数	施用時期	窒素量 (kg/10a)	出穂前日数	施用時期	窒素量 (kg/10a)
ゆきん子舞	7/3～4	7/26～27	25～23	7/1～4	1～1.5	14	7/12～13	1～1.5
こしいぶき	7/4～5	7/27～28	23	7/4～5	1.0	14	7/13～14	1.5
わたぼうし	7/2～4	7/25～27	22～20	7/3～7	1～1.5	12～10	7/13～17	1～1.5
五百万石	7/2～3	7/25～26	20～18	7/5～8	1～1.5	12	7/13～14	0.5～1
こがねもち	7/8～9	7/31～8/1	18～15	7/13～17	1～1.5	10	7/21～22	1～1.5

### 穂肥の2回目施用前には、必ず幼穂を確認しましょう

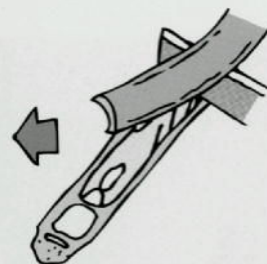
#### 【幼穂長による出穂前日数のめやす】

幼穂長 (cm)	0.02	0.1	0.13	0.2	0.5～ 1.0	4.0～ 6.0
出穂前日数 (日)	30	24	23	20	18	12

☆ ほ場内の平均的な株から最も長い茎を抜き取り測定。数株から採取し総合的に判断する。

#### 【幼穂の長さを確認する】

〈その1 カッターなどで割る〉



## 3 カメムシ対策 (草刈り) の徹底 (発生時期 平年並～やや早く、発生量 やや多め)

- 各地域の病害虫調査でも畦畔・農道等の雑草が繁茂し大きいところでは、カメムシが確認されています。
- 雑草が結実しない間隔で草刈りを徹底しましょう。

## 4 中干し後の水管理(飽水管理)の徹底

- 幼穂形成期に向け**中干し後の飽水管理を徹底**しましょう。
- 異常高温時には速やかにかん水しましょう。